

上川 龍之進
法学研究科・教授

【研究】

第1に、日本学術振興会の委託研究「東日本大震災学術調査」の研究成果として出版された英語図書に論文2編を寄稿したほか、それを発展させた、原子力政策に関する著書を公刊した。

第2に、2016年に台湾・政治大学での国際シンポジウムで報告した、日本政治と制度改革に関する研究を論文にまとめて公刊した。

第3に、先進国における緊縮政策を比較する共同研究(科研費・基盤研究B)の研究を引き続き進めた。来年度には論文を執筆する予定である。

第4に、金融危機の比較研究(科研費・基盤研究C)についても研究を進めている。

第5に、日本政治についての教科書で「官僚・政官関係」の章の分担執筆を行った。来年度中には出版予定である。

【教育】

【大学院】「政治過程論特殊講義／政治過程論」では、先進諸国の政治経済を分析した英語文献を講読した。「総合演習／特定研究(ヨーロッパ政治論)」では、現代ヨーロッパ政治に関する英語文献を講読した。「定性的研究の理論と方法」では、実証的な政治学の論文を書くうえで必要となる政治学の理論・方法論について学生が理解できるよう、それに関する大量の文献を講読した。

【学部】「政治過程論」、「政治学の基礎」では、政治学の理論を紹介するにあたり、時事的な政治問題に関連付けながら、具体例をできるだけ多く挙げて説明している。「演習」では、1学期に専門書を講読し、2学期には、受講生が関心のあるテーマについて調査・研究を行った。11月には台湾・国立政治大学を訪問し、日本研究修士課程プログラムの学生と合同で研究発表会を催した。

【管理運営】

法学部教務委員・広報委員を務めた。

【社会貢献】

第1に、NPO法人大阪府高齢者大学校の「現代社会を考える科」にて「現代日本の政治状況」というテーマで、1回2時間の講義を3回分担当した。第2に、Handai-Asahi 中之島塾(大阪大学中之島センター)にて「3. 11後の原発～政治は何を決めたのか」と題する講演を行った。